



新連載

ひとり歩きのための
ヨーロッパの美術館

△1▽

巨人ピカソ追跡作戦〈上〉

伊藤 誠

△神戸新聞社事業部第一部長▽

ピカソという名前、今では日本でもたいいの人が知っているだろう。しかし、ピカソの作品については、何となくむづかしい絵、わかりにくい絵といった先入感があつて、毛ざらい気味の人も多いのではないだろうか。二十世紀最大の画家ながら、まだまだ知られなき過ぎている巨人。このシリーズ、まずピカソの作品を訪ねるところから始めてみよう。

一九七五年十一月、パリのジャクマール・アンドレ美術館で「洗濯船（バテュ・ラボール）展」という展覧会が開かれた。洗濯船というのは、もともとセーヌ河畔につながれて、近くに住む人々が洗濯するために使った船を指すのだが、たまたま二十世紀初頭、若い美術家や作家、詩人、評論家たちの住みついたモンマルトルのアンパールのたなずまいがそれに似ていたところから、その長屋風アパートにつけられた通称である。

このアパートの住人、そしてその住人を訪ねてしばしば出入りし、ここを一種の芸術的根城にした人たちの顔ぶれは、大体次のようなものだ。ゴーギャン、モジリアニ、バン・ドンゲン、マリイ・ローランサン、アンリ・ルソー、ユトリロ、ホワン・グリ、マチス、ブラック、

デュフィ、アポリネール、マックス・ジャコブ、アンドレ・サルモン、ジャン・コクトー etc. 中で、最もこのアパートを有名ならしめた住人がパブロ・ピカソ。

ピカソは一九〇四年から一九〇九年の五年間、年齢にして二十三歳から二十八歳まで、このアパートに住んでいる。絵の方は、住み初めのころが「青の時代」から徐々に「赤の時代」へ移向しつつあった時であり、途中である有名な「アビニヨンの娘たち」を発表、立体主義（キュービズム）への足がかりを作っている。いわば、ピカソが「二十世紀の巨匠」として飛躍する一番重要な時期が、この「洗濯船時代」だったということが出来る。そして、ここで最初の伴侶フェルナンド・オリビエとも出会い、同棲に入った。

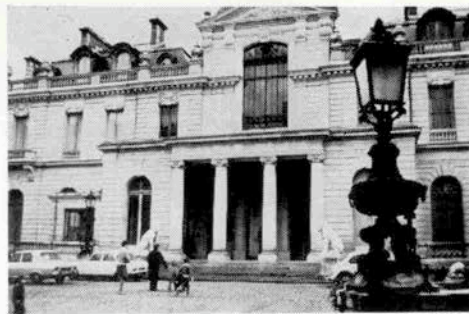
彼と彼女の出会いは、オリビエの手記によればまるでジュリアン・デュビエカルネ・クレール描くフランス映画の「コマを見るような（古いかな？）ふんい気だ。お互い、洗濯船の住人で一応顔見知りではあったが、口をきいたことはなかった。それがあつた夏の日、突然豪雨になつて、広場にいた彼女があわてて路地へかけ込むと、そこに彼が立っていた。△子ネコを腕にかかえていて、笑いながらそれを私に差し出し、同時に、私の行く



パリ近代美術館（左が国立、右が市立）

ずば抜けて鑑賞者へ挑みかかってくるの

もあった。そんな中で、一番



ジャクマール・アンドレ美術館

手をつさいだ。私は笑った。すると彼はアトリエを見に来ないかと誘った。／＼彼女も画学生兼モデルだったのである。やがて恋の芽生え、そして同様。

ところで「洗濯船展」は、前記の顔ぶれを含めた、このアパートの住人、出入り人たちの当時のそれぞれの作品、日記

手紙、写真類、それにアパートの模型などを一堂に集めた展覧会で、なかなかバラエティーに富んだ内容だった。美術作品自体も、やや雑然としているものの、いろいろな傾向が平行して動いているさまが面白く、しかも一つところにひしめきながら、当時の芸術界へ雄飛しようとしていた青年たちの気概がみなぎっていて、実に楽しい。しかしまた、

歴史に名をとどめる

ことになった人たちの

のいる半面、すでに

名の消えてしまった

人たちの大勢いる事

実は、人間世界の厳

しさやはかなさを実

感させて、後々まで

考えさせる展覧会で

もあった。

そんな中で、一番

ずば抜けて鑑賞者へ

挑みかかってくるの

もあった。

が何といってもピカソである。貧しさ、飢え、病氣、死、哀しみ、そんな人間世界のやり切れなさをテーマにしながら、その底にいつも人間へのいとおしみがあふれている「青の時代」の作品。色彩に明るさが増し、生きる希望が湧いてくるような欲びに裏付けられた「赤の時代」の作品。ニグロ芸術その他の摂取によって新しい美の視点を打ち出した（といっても、当時ピカソは狂ったのではないかと言われたりした）「アビニヨンの娘たち」につながる「立体主義前期」あるいは「黒の時代」とも言われる作品。そして、対象となる物を分析し作者の美的感覚で以て再構成するという、いわば絵画の革命となり「現代絵画」の出発点となった「立体主義」の作品。彼の五年間のテンポの何とすさまじいことか。「青の時代」「赤の時代」の作品で、画家として立派に生活できる位置を確保しながら、あえてそれを振り切って冒険の世界へ再出発した覚悟のみごとき。これが二十代の青年のやることか、と驚く半面、二十代だからこそやったのだらうかと感心もする。いずれにしても、すごい。全くだれにでも出来ることではない。

この「洗濯船展」へは、二十余年来の友人で、目下パリで画家生活を送っている鴨居玲兄と同行した。ジャクマール・アンドレ美術館は、鴨居兄も未訪の美術館で、市街図を頼りに、最も近そうなメトロの駅を下りて後はテクったのだが「ははあ、こんな所にあつたのか」というのが鴨居兄の感想。時々はこの前を通つたこともあるが美術館とは気付かなかつたとか。ちよつと分かりにくいのは、正面玄関が通りに面しておらず、建て物の下の路地のような通路をくぐり抜けて、いわば裏側の中庭風の所へ出ないと美術館らしい構えに出くわさないのである。もともとアンドレ夫妻の邸宅だったのを、夫の死後、夫人がコレクションといっしよにフランス学士院へ寄贈して出来た美術館で、ふだんは十八世紀フランスとイタリア・ルネッサンスのものを常設展示しており、今



通称「洗濯船」ピカソたちが住んだ長屋風アパート

回の様な特別企画展は珍しいらしい。まことにグッドタイミングではあった。パリへ行く度に「さすが／＼」と思うのは、いつも市内の美術館数カ所で常設以外の特別展が開かれている

ことで（パリの美術館は近郊を合わせて約七十といわれている）短期滞在者には非常にうれしくもあり、時間的に見切れそうにない歯がゆさをも感じたものだ。ちなみに、この「洗濯船展」と前後してパリで開かれた主な企画展には、グラン・パレの「ミレー展」「ジャック・ピヨン展」「スキタイ文明展」「チエコスロバキヤ十世紀美術展」オランジェリーの「マルケ生誕一〇〇年記念展」マルモッタンの「キリコ展」ドラクロワ美術館の「ドラクロワから印象派までの風景画展」などがあつた。



ピカソ画「アルルカン」＜国立近代美術館蔵＞

ところで、それではパリで常時ピカソの作品が見られる所は、となるとセーヌ河畔の国立近代美術館が一番ふさわしい。ここは一九四七年六月の開館で、パリでは非常に新しい美術館。といっても、初めはパリでも歴史の古い美術館の一つであるルクサンブル美術館のコレクションを受け継いで発足したのだが、やがて印象派美術館に保管されていた現代外国作家の作品がここのへ移されたり、現存作家やコレクターからの寄贈が次々とあつたり、館自体が収集に積極的になり出したりして、今やこの美術館は世界現代美術のメッカといつていいほど充実した内容を誇っている。流派的に言えば、野獸派（フオービズム）立体派を起点として、文字通り現代にまでつながる流れを、系統的に陳列している。主な作家を挙げると、マチス、ブラマンク、ドラン、デュフィ、ドニ、ビヤール、ボナール、ブラック、ピカソ、レジェ、ダリ、エルンスト、ミロ、カンディンスキー、ルオー、シャガール、モジリアニ、スーチンエットと枚挙にいとまがない。ルーブル、印象派美術館とならんで、パリで見落としてならない重要な美術館である。

ただし、時を置いて訪れると陳列作品に幾分移動があり、特に抽象、非具象系の展示が大きく変わっていたりする。例えば、十年近く前に訪れた時、抽象・非具象の世界で日本人画家数人の作品が見られ、いささか心強さを感じたものだったが、最近の折りは、それらの作品が全く見当たらず、少々がっかりしたものだ。（もともと、時によつては特定の室を一時閉鎖していることがある）階段横の小さなコーナーながら三点出ていた藤田嗣治も、最近ではエコール・ド・パリの中へ一点が列んでいるだけ。現代美術の動向を知らせることと、新しい作品が時の推移にかかわらず変わらぬ価値を持ち続け得るかどうか試してみることが使命としている美術館としては、常設とはいえ、つねに小刻みながらも動いていることが必要なのだろう。



近代美術館前でデモする若い女流美術家たち

ようど一対のようになっているが、こちらの方は、いわば現在活躍中の美術家連の試練道場。もちろん常設展示もあるけれど、むしろバリ・ピエンナーレをはじめいろいろな団体・グループ展が次々と開かれる所で、国立とは一味



近代美術館前に停車している移動ギャラリー

そんな中で、ピカソはいつも一番いい陳列室をあてがわれている。(これは作者生前からのことだった)正面入り口から入って、僚友ブラックらの立体派の小屋屋を抜けた真つ正面、メインの部屋がそれだ。各時期の大作を一応そろえて約三十点。まず、だれもがのぞかなければならない部屋として扱われている感じだが、それだけの価値があることは言うまでもない。

この国立近代美術館、すぐく見応えのあることは前記作家連中の顔ぶれだけでもわかつた(それだけに肉体的にも相当たびれるのである)ここまで来たら、隣接するパリ市立近代美術館をものぞきたい。建て物自体は

違ふ面白さがある。前衛意識の強いメンバーが多いだけに、国立と共有する館の前の広場で、出品者たちがデモンストレーションを行ない、鑑賞者を喜ばせてくれる機会も少なくない。また小さいな作品展示車が入り口近くに停まって、ミニ街頭展をやったりもする。いずれにしても若いエネルギーが常に渦巻いている活気のある美術館だ。

「洗濯船展」を見た夜、鴨居兄と私は久しぶりの再会を祝して飲んだ。当然のことのようにハシゴ。打ち上げて店を出ると、朝から霧雨もようだったのが、かなり激しさを加えている。すでに午前二時に近く、タクシーもなかなか拾えない。ままよ、とクツに水のしみ入るのを承知で、傘を開いて歩くことにする。そして、歩いて良かった。まっ暗な虚空から街頭に照らされてキラキラ光りながら落ちてくる雨滴にまじり、マロニエの枯れ葉がその光りにもつれるように次から次へと、すでにひと気の無くなった街路へ舞い下りてくるのである。何とも言えぬきらかな光景。いい美術展に酔い、友との酒に酔い、さらに予期せぬ雨と枯れ葉の乱舞に酔って、その夜の締めくくりはまことに快かった。

ただし後日、鴨居兄のいわく。「あの夜歩いた相手が君でなく女性だったらなあ」もちろん当方も、立ち場をそっくり変えて同感。「洗濯船」の面々を駆りたてた青春の気は、今も変わらずこの街にたちこめているように、あれは「散りぎわの美しさ」と自覚させながら、一夜、中年男たちの血をも騒がせたようであった。

△作品以外の写真も筆者▽

「ひとり歩きのためのヨーロッパの美術館」は、巨人ピカソ追跡作戦△中▽
△下▽に続いて

- ・花の都の印象派画家△マネ、モネら▽
 - ・南フランスのアトリエ△ルノアール、セザンヌら▽
 - ・マドリッドのゴヤ回顧展
 - ・ブリュッセルの「いすこ」
 - ・オランダのビッグ3△レンブラント、フェルメールら▽
- と、次回からの企画を進めています。ご期待ください。

★神戸っ子

トラベルコーナー

神戸っ子海外旅行ご案内

★スイスでより美しく(フィッティングスクール) ＜51年5月21日～6月6日＞

費用/¥720,000,-

定員/10名

スイスのインターラーゲンにあるデラックスホテル「グランドホテル」にて貴女を頭の先より足の先まで美しく光り輝やかせましょう。その後2日間はバリーで休んで帰国の予定。ぜひご参加を!



★レオナルド・ダ・ヴィンチ(イタリア豪華客船 33,500トン)地中海の旅

＜7月6日出発。パリ、ニース、モナコに立寄り、ジェノアより乗船＞

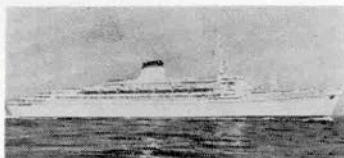
費用/¥940,000(船室により費用が変わることがあります)

定員/10名 ファーストクラス、シャワー付2人部屋

スケジュール

7月10日 ジェノア発

7月11日 バレロモ(シシリー島)着
7月14日 マディラ着
7月15日 ラスベガス(カナリーアイランド)着
7月16日 カサブランカ(モロッコ)着
7月20日 ナポリ着
7月21日 ジェノア着



イタリアの豪華客船「レオナルド・ダ・ヴィンチ」

★関西デザイナースクール30周年記念

ヨーロッパツアー(ロンドン・パリ・ローマ)
＜51年3月26日(金)～4月4日(日)10日間

費用/¥360,000

参加人員/30名

3/26東京発→3/27ロンドン着→3/28パリ着
(オートクチュールのショーなど見学) 4/1
ローマ着→4/4大阪着

現地でオブショナツアアやフアッショ・
ストリートなどの見学があります。

お問合せ、お申込みは神戸っ子トラベル係へ
TEL 078 (331) 2246

●神戸っ子愛読者トラベル・サービス

★サンフランシスコ6日間

6月11日～6月16日

費用/¥198,000

定員/35名

大阪→東京→サンフランシスコ→東京→大阪
＜ホテルは2人1室＞

★香港4日間

3月18日(木)～3月21日(日)

費用/大人 A ¥88,000 B ¥96,000

エアー・オンリー ¥60,000

定員/30名

大阪→香港→大阪

全行程3食付＜Aコースのみ自由行動日の昼食を除く＞エクスセルシオール・ホテル泊2人1室

★ハワイ6日間

6月22日(火)～6月28日(日)

費用/A(到着日の昼食のみ含む) ¥158,000

D(全行程3食付) ¥179,000

定員/45名

大阪→東京→ホノルル→東京→大阪

ホテルはアラモアナ・プリンセスカイルウナ、
モアナのいずれか。2人1室

お申し込みは神戸っ子トラベル係へどうぞ。

TEL078-331-2246

●小泉パーティのご案内



1月10日「第1回小泉パーティ」会場風景

★結婚を希望する男女に交際のお手
提供し、良きパートナーを見出すお手
伝いをいたします。

★会員相互の理解を深め、親しみを増
すための、家族ぐるみのパーティを
開催いたします。

★結婚に関する一切のコンサルタント
カウンセラーにも応じます。

入会金及び年会費は…

- ・入会金 10,000円
- ・年会費 10,000円

(必要に応じて調査費35,000円をお願いすることもあります)

「ごあんない」入用の方は下記までご連絡下さい。

神戸市東灘区浜辺通り6丁目3-13

ニューポートホテル1131号 ☎078-252-1380

小泉パーティ事務局

代表者 小泉正巳



蟹料理の店

かに料理の店



ばさら
妻女 羅

神戸・三宮阪急西口北側レインボープラザ
☎(078)3321-6363

熟練の調理士が
新鮮な材料をぜいたくに使い
新しさを加味し盛りつけます。

日本料理

但馬水軍船料理

山海の滋味ゆたかに季節を
盛りあげます。

◆ 1・2階



おぎのすけ 本店



□連載小説／2▽

播州路

福元 早夫 え・山本 文彦

冬子が二度目のさげび声をあげたのは、彼女が播州におちついて、まる二年がたっていた。ある夜、兄ちゃん……と、悲痛な声で彼女はほくを呼んだ。それから、しばらくにもいわず、じっと押し黙っているのだった。「どげんしたとよ」と、頭をかしげながらほくは訊いた。けどどなにも応えない。

受話器をあてたほくの耳に、すさまじい機械音がきこえる。冬子は工場の中から、電話をかけているのだった。「ふゆこ」と、思わずほくは叫び声をあげた。それでも彼女は応えない。

きこえてくるのは、糸をつむぎつづけ、はたを織りつづけているらしい紡織機のはげしい音だけだ。それが、トタン屋根をたく集中豪雨のようにひびいてくる。受話器をあてたほくの耳は、嵐だった。突風が吹きまくっている。ときどき、だれかがしきりに吊り鐘をたたいているような、甲高い音がまじる。とにかくものすごい騒音なのだった。

「どげんしたとよ、ふゆこ」
ほくは叫んだ。

紡織機のはじきだすすさまじい音が、こんどは砂利の

ころがる音にきこえてくる。ひろい鉄板の上を、夥しい小石が、とめどもなくころがりつづけているのだ。冬子のいる世界では、トタン屋根に砂利の雨が降っている。

「ふゆこ、なんかあったとか」

ぼくは受話器をもちかえてさらに大声をあげた。

「……どないしたん、そんなおそろしい声をだして」

背後から妻がいった。エプロンで手を拭きながら、ちがついてきていた。

「いや、ふゆこが……」

と、送話器に手でふたをしながらぼくはいった。

「どうも様子がおかしいんや。なにもいわんと、泣いているみたいなんや」

「あたしが話を訊いてみよか」

「いや、ちょっとまって」

ぼくは妻を制して、ふたたび受話器を耳に押しあて、冬子のいる世界に聞き耳をたてた。だけどそこは、激しい機械音だけだ。人と人の話し声などというい寄せつけない。よほど大声をださないとだめだ。

「ふゆこ……」

と、こんどはやや冷静にぼくは呼びかけた。そして、妻の心配顔をながめながら

「わしに話しくかったら、久美子ねえちゃんとかわろうか」

といつて、相手の反応をまった。紡織機のはじきだすすさまじい轟音の中で、受話器にしがみついた冬子が、なにか得体の知れないものに怯えながら、小さくうずくまっているように感じられる。ぼくは息をこらしてまった。

「……なんでんなかと」

しばらくしてふいに冬子がいった。

「ほんのこつか」といって、ぼくは首をひねった。きつ

と何かあったにちがいないのだ。

「うん」と彼女はいった。

「なんかあったとか」

「うんにゃ」と彼女はいった。「ただ、兄ちゃんが声をばききたかったと」

「そうか」

「そう」

「ほんのこて、そうか」

「ほんのこて、そうよ」

「そうだったらよか」

ぼくは複雑な気持でそういった。冬子は、なにか悩みを背負いこんでいるのは確かだ。だけどそれを語ることができないでいる。受話器をつかんだままの、長い沈黙の時間に、彼女は彼女自身とたたかっていたのかもしれない。ぼくはそう思った。だから、もう深追いしなかった。

「兄ちゃん」

と冬子と呼んだ。それから

「いちどでよから、こちらへきて。うちの工場をば見きて」

と、涙をぬぐったあとのようないいかたをした。

バスは須磨で、第二神明高速道路へと乗りいれた。ぼくの前座席の男は、読んでいたものを傍へなげだしている。どうやら眠ってしまったようだ。一人掛けの乗客はほとんどが眠っていた。ぼくもひと眠りしたいところだったが、なぜか眠気がおそってこない。

トンネルをくぐった。前にも後ろにも、夥しい車だ。大型の長距離トラックがめだつ。オレンジ色のナトリウム灯が、断続して車内を照らす。ずつと先の方に、まるい出口がみえる。雨が降っているから、太陽はかがやいていないのだが、それでもかなり明かるい。あそこに出口がある。という安心感がある。

トンネルの内部は、全速力で突っ走るエンジン音が、いくつものぶつかり合っている。出口にむかって、わめき合いながらつづつ走っていく。すさまじい響きだ。

バスはふたたびトンネルをくぐった。そして、大蔵谷

口をすり鉢状に降りて行き、いきおいをつけてのぼった。周囲は新しく展けた住宅地だった。山の中に高層住宅がたつていたり、色彩ゆたかな家屋がならんでいたりした。

ふたつのトンネルをくぐりぬけてきたせいか、雨足がいくぶんおとろえてきたようだ。ワイパーのうごきを、それほどいそがしいとは感じなくなった。

ぼくは眠ろうとかんがえて眼をとじた。昨日までの勤務が、午後勤だった。仕事が終わって家に帰りつくとき、たいがい、夜中十二時ごろである。それから食事をするのだ。工場での勤務の状態が三交替で、おまけに日曜も祭日も関係のない、四直三交替だから、生活が不規則になる。眠ろうとかんがえたけれど、なぜか眠気がおそってこなかった。

バスは高速道路を走りつづけた。ぼくはかるく目をとじ、昨夜、妻がいったことを思い出していた。

久美子はほくに、冬子さんは一日も早く工場をやめて、故郷へ帰った方がいい、いまのうちに、親元で静養しなければ、身体をすっかりこわしてしまいわ、とおどすような口調でいったのだ。

去年のいまごろだった。冬子は三度目のさけび声をあげたのだ。そのとき、ぼくのかわりに久美子が播州へ行った。そして妻は、冬子をぼくらのアパートへ連れてかえった。

一週間ちかく冬子はぼくらと暮らした。すっかり痩せほそっており、食欲もない、という。ふゆこ、と呼んでも、知らぬ顔をするときがある。耳がきこえにくくなっているのだった。顔色がきよくたんにわるく、いつも沈みこんでいる。めったに笑顔をみせない。

妻は冬子を、医者へつれていった。生理がはじまったら、十日も二十日も、へたをすると、ひと月ちかくも出血がとまらない、というのだ。妻のおどろきようはたいへんなものだった。

バスはスピードをこらして、三木への入口のインター

チェンジをすべりおりていくところだった。車内アナウンスがあった。ぼくはほっと息をついた。

玉津警察所前ではじめてバスはとまった。三宮を出発して、ここが最初の停留所だった。中年の男が乗りこんできて、ぼくの前座席に腰をおろした。

平野橋をすぎると、車窓からの眺めは高い山だった。

そしてその山の本々は、どれもこれもすっかり紅葉しきっている。ぼくは思わず目をしばたいた。そぼ降る小雨にぬれながら、それでも山の本々は、燃えているようにあかいのだった。故郷をはなれて以来、ぼくは、山がこんなにあかく燃えるということを、あまりにも長く忘れすぎていたような気がする。

医者は冬子に、工場での昼夜二交替の不規則な仕事をやめて、もっと気楽な仕事にうつらなければだめだ、といった。

冬子はほくに、集団就職で一緒にやってきた十五人の仲間のほとんどが、工場をやめていった、といい、うちもやめたいけど、といって沈みこんだ。

妻は冬子のために、あちこち仕事をさがして歩いた。だけど冬子は、うちが仕事をかわれば、故郷の母や父が心配するばかりだから、我慢をする、といった。

妻は反対だった。自分のからだは自分で守らなければだめだ、といった。ぼくはなにもいえなかった。妻のいうとおりだ、ということとはわかっていたけれど、強いてそれがいいないのだった。

神戸で生まれ、神戸でそだった妻には、理解できないようなこの世の世界が、冬子にもぼくにもある。それは、故郷だった。そしてそれは、母でもあった。そのかたちを持たない故郷と母が、うす暗い集団就職列車にのりこんだその日から、冬子にもぼくにも、棲みついてはなれないのだった。

紅葉の山間をバスは走りつづけた。ワイパーがフロントガラスをぬらすこぬか雨を、ていねいにぬぐいつづけている。前座席の二人は何かしきりに話し合っている。



玉津警察所前でのりこんできた中年の男は、同席した若い男の、上司といった感じだ。二人は仕事の打ち合わせに余念がない、といったところだった。

とつ然空間がひらけた。目の前がひろびろとした田園風景にかわったのだった。周囲は刈り入れの終わった農村地帯である。

もみ、を焼くけむりが、あちこちでたちのぼっている。遠くの山々は雨にけむって、ほのかにかすんでみえる。見るからにのどかだ。わらが小高く積まれていて、田園は収穫の終りをつけていた。

ぼくはころがなごんだ。故郷の野道を、バスに揺ら

れて、我が家へとむかっているような気分になってきた。せいかもしれない。

農家の庭先に、柿の実がまっかに熟していた。ぼくはあらゆるものに目を凝らして、じっと窓の外をながめつづけた。農夫がひとり、ずつとむこうの畦道を歩いていた。その後を小犬が追っている。

よく手入れされた菜園が目についた。土は肥えているようだった。ふつ、とぼくは、故郷を思った。土はガラスくずのようにキラキラ光るシラス土だ。やせている。ぼくらの歩いた道は、シラス台地の大きく地割れた、その割れ間だった。そして、山も深かった。

バスは平野を走りつづけ、また山にむかった。行手を見あげると、山の中腹を馬の親子が走っているのが見えた。どうやら、山が牧場になっているようだった。

三木へむかってバスはふたたび紅葉の山間を走りつづけた。

三宮からのつてきた年老いた母とその娘が、三木で降りた。かわりに四人ばかりがのりこんできた。

市場のあたりだったと思う。バスは鉄道線路とならんで走るかたちになった。どうやら、神戸電鉄が延びているのらしかった。

小野の街をすぎたあたりから、フロントガラスをぬぐうワイパーの動きがまた気になってきた。雨が大粒になってきたようだ。干上がった小野大池に、白鷺が降りたっていた。夫婦なのか、恋人どおしなのか、雨に打たれてぼかんとしている。不安そうにこちらをながめていた。兄妹なのかもしれない。

社で前座席の初老の夫婦が降りた。女房の方が気が勝っているのか、旦那はタラップを降りる足もとを、いちいちさしづされ、それに従っていった。

若い女がのりこんできて、ぼくとならんだ隣りの座席に腰をおろした。二〇歳ぐらいに見えた。うす化粧をして、妙にかしこまっている。

冬子は二〇歳になるまでお化粧はしない、といっていた。工場の仲間がみんな化粧に余念がないけれど、あたしは、あわてて大人になることはないと思うの、といっていた。彼女が十八歳のときだった。

社から滝野をすぎると西脇大橋だった。そこから終点西脇駅前、ほんのわずかだった。終着駅の車内アナウンスがあった。ぼくは紙袋をひきよせ、こころもち腰をうかした。前座席の二人が、たちあがって背伸びをした。車内に安堵のため息がいくつかこぼれた。雨はいぜん降りつづいている。ぼくは傘をひきよせた。バスは商店街を走りぬけ、駅前広場にむかった。

西脇の街は、まわりを山に囲まれていた。国鉄西脇駅

は、どことなく故郷の駅をおもわせる。まうしろに山がせまってきているのだ。雨が降っていなかったら空が高く、風のかげやきがみえるにちがいない。

ぼくはバス待合所の公衆電話にむかって、ダイヤルをまわした。冬子には訪ねていくことを知らせていなかったのだ。ある日突然、といったかたちでひょいと顔をだして、冬子をびっくりさせてやろう、と思ったからだ。ただどこかんじんの冬子がどこにいるのかさっぱりわからなかった。

「大迫冬子を呼んでほしいんですが……」

と、ぼくは電話にでた相手にいった。しばらく待ってください、と相手の女はいった。冬子のやつ、仕事なのかもしれない、とぼくは思った。きょうは日曜でも祭日でもなかった。ぼくだけが休日なのだった。

相手がでた。案の定だった。工場の方に電話してみてください、といった。

ぼくは受話器をおいてたばこをくわえた。それからこんどは、工場の電話番号をひとつひとつ小声で読みあげながら、ダイヤルをまわした。また女がでた。

「大迫冬子の親戚のようですが」

といって、ぼくはひと呼吸おいた。そして

「仕事中、まことにおそれいます」

と、見えもしない相手にていねいに頭を下げながら「ちよつと呼んだけだめせんでしょうか」と頼んだ。はい、ちよつと待ってください、といって、相手は受話器をおいたようだ。

ぼくは左手で受話器を耳に押しあて、右手でいそがしくたばこを吸った。こころなしか緊張している。バス待合室の何人かが、こちらの様子をのぞきこんでいるように感じる。

もしもし、と女がでた。

「ふゆこか」とぼくは叫んだ。

「わしや」

「兄ちゃんね」と、彼女が叫んだ。

(つづく)

talk and talk



＜神戸っ子愛読者サロン＞

★「神戸の女は日本」は大変面白い読みものでした。女体百景一はすしマンネリズムかも。ちかごろ町づくりや都市構想がやっていると反映してか「神戸っ子」にもいろいろとあらわれ「キャンベーン・ファッション都市神戸を」や「自由性のある大人の街に」など西脇の町づくりの参考になります。

ぼつぼつ阪東氏と協力して西脇に神戸っ子の会をつくっても、と考えております。

西脇市山手町 ▲越川正三

★いつも「神戸っ子」届けてもらっておき。神戸のええところ、うた、あけびりげなどこと人聞くさを感じさせるところとちやうか。そのええあたがたかかスマートさがあるやと思ひます。そういうことは例えば路地を入った裏通りなどでより強く感じられます。そやからやその他のがそれぞれ持場で真面目に取り組んでいること。これは場の大小を問わないやうです。あけびりげと関係あねんやうか。

差別意識が極めて少ないのも僕らには嬉しい限り。つまるところ、神戸というの歩み、鼻唄が口笛となつてさらに歌となり、唄が口けずメロディーが広がって体がはてようなところというたええのちやいます。

風邪がえらい流行つてゐるよう思うねんけど編集部の方々も気を付けて。

福井市 ▲細江康正

☆木枯し吹くこの頃、編集員は鼻水出しながらんばつておりま。また神戸へ遊びにくたさいね。

▲編集部

★夙川に住む私は残念ながら生粋の神戸っ子とは云い難い。

地理的には半分は浪速っ子である。仕事でよく地方へ行く。時に、車中で知らない人旅の気楽さから言葉を交わす事がある。

「どちらからですか？」と尋ねられる。「神戸です」と答える。必ずそう答える。

これは私のズルさである。しかし現実にはこう云う方ははるかにモテるのである。

とに角「神戸」と聞く相手の瞳の色が変わるのである。特に女性にとつては余程魅力的な街と云うイメージが強いのであろう。

皆一度は行ってみたいわ、と云う顔をする。私はこそとばかり得意になつて喋り、最後に「ぜひいらっしやい。喜んで御案内いたしますよ」と云う。

これは神戸を愛する者がそのよさを知らせてもらいたくての言葉である。「ええ、きつ」とこんな事は旅先でよくある話である。そしてそれ切りと云うのもこれ又よくある話である。

私は思う。やはり見破られていたんだな。一片の下心を……。

時にはこんな事もある。

例の如く相手の瞳の輝く変化を期待して「神戸っ子」すると、ああ困った、「神戸っ子」神戸はどちらですか？と来る。相手は生粋だつたのである。そして「西宮もいる所ですりね」などと勝ち誇つた如くに慰まられ、まさにシヨボンである。

とに角うまくいかないものである。尤も神戸の衣をかりてまでモテたなどと思えば我ながら浅まし

い話ではある。

西宮市神原4の8の714 ▲島田凱夫

☆あなたなら「西宮」と言っても大いにモテるはずですがね。これからは神戸の良さを生かしてガンバツてくたさい。

▲編集部

今年も神戸のニュースをヨロシクノ

▲秋元啓一

★北風がとつてもつめたこの頃です。お正月が過ぎて今年はいれもしますがそのうちのひとつでもできたらいと思つています。

神戸っ子一月号ありがとうございます。

★「海の光」真珠」現代写真作家による作品集、夫々に詩があり、個性があり、すばらしいでした。人間の物欲の存在しないところの真珠は美しいです。

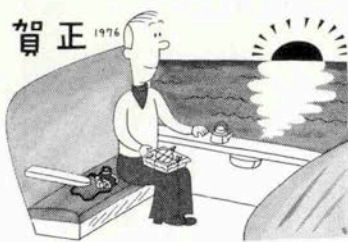
宝塚市 ▲丸本明子

★その後もお喜びございませんかやと結婚式を終えたもののまだまだ落ち着かない毎日です。

久しぶりでこちらの華やかなクリスマスを迎えるのですが、イブのダンスパーティーが楽しみです。両親は南米でクリスマス、お正月を過ごすこととしよう。

ロサンゼルスにて入伊藤沢子

旧姓新谷



賀正 1976

KOBE POST

★美術評論家の赤根和生さんが前著「モンドリアン」に続き、昨年暮「自然から抽象へ」モンドリアン論集（美術出版社刊・三八〇〇円）を出版されました。

★彫刻家の新谷沢子さんが昨年十二月十四日ロサンゼルス市の柳宗寺において、建築家沢野御夫妻の模範により伊藤幸雄氏と挙式されました。おめでとうございませ。新居は左記の通りです。

119 South Avenue 64
Los Angeles Calif. 90042,
U.S.A.

★朝日新聞前神戸支局長の永尾辰弥さんはこのほど大阪本社社会部長となられ、新神戸支局長には一月一日より岡本俊夫さんが就任されました。

★柳都市・計画・設計研究所の小林郁雄さんが昨年11月よりUR福岡事務所勤務されています。

新住所は
〒816 福岡県大野城市下大利80
下大利団地20号楼五〇三三
室（〇九二）五七一―一七六

★邦舞家の林啓二さんは一月に東京宝塚舞伎で長谷川一夫さんと出演され、二月、三月は島倉千代さんと東京のコマ劇場に出演されています。上京の折はぜひご覧ください。

★岡家松幸 宏さんのご尊父、松本邦二氏が亡くなりました。また北園株式代表取締役の高 英洋氏が急逝されました。ご冥福をお祈りいたします。

★ユニークな月刊「雑誌」フエニックスを発行している福井P.R.センターが新業務転換しました。

新住所は
〒910 福井市幾良町三三―二
室（〇七六）三三六五五

★ドイツで姉さんの中松ニッキさん展を開かれます。なお、デュッセルドルフ近代美術館発行の6カレントダーに中松さんの作品が掲載されているそうです。

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん **あこや亭**
神戸市東灘区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食 **くれな**
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かつばう **吉本**
神戸市生田区加納町3丁目95-1
(ニュージャパン別館前) TEL 241-3450

鍋もの・おむすび **悟味西**
お茶漬・かはた
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび **ふる**
鍋もの
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼 **たちばな**
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 **蝦夷**
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 **婆娑羅(ばさら)**
神戸市生田区北長狭通1丁目118
三宮阪急西口北側レインボーラザ1・2F
TEL 321-6363

天ブラハウス **瀬戸**
美術喫茶
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

レストラン **アポロン**
ティンバーラー
神戸市東灘区八幡通5丁目6 TEL 251-3231

レストラン **鹿皮〈あらかわ〉**
神戸市生田区中山手2-9 TEL 221-8547・231-3315

GALLERY & STEAK HOUSE **SAN-MON 三門**
神戸市生田区中山手通2丁目98/99 TEL 331-5817

ステーキハウス **れんが亭**
神戸市生田区下山手通2丁目34 TEL 331-7168

レストラン **セントジョージ**
神戸市生田区北野町1丁目130 TEL 242-1234

レストラン **男爵**
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode **花屋敷**
三宮フラワーロード市役所前 TEL 251-2109

鉄板グリル **きゃんどの**
神戸市生田区北長狭通2-22 TEL 331-1183

レストラン **フィッシャー・マンズ・ポート**
神戸港第4突堤ポートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 **ロス・ヒターノス**
フラメンコショー
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイム
TEL 391-5431

レストラン **ムーンライイト**
三宮・生田新道 TEL 331-9554
TEL 331-2509

グリル・鉄板焼 **月六**
BARBECUE & STEAK
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン **スイス・シャレー**
神戸市生田区北野町3丁目48アール・ド・マニョン1F
TEL 221-4343

フランス料理 **ビストロ・ドゥ・リオン**
神戸市生田区山本通2丁目40-1
TEL 221-2727

ピッツアハウス **ピノッキオ**
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン **フック・東店**
神戸市生田区栄町1-5-3 TEL 321-3207

ピザ&スナック **ガルの店**
東灘区琴緒町5丁目1-7 西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス **グリラ・青山**
神戸市生田区中山手通2丁目112-2(トアロード) TEL 331-4858

レストラン **フック・神戸店**
神戸市生田区栄町通2丁目24 TEL 321-3453

レストラン **元町フルーツホール**
フランス料理
元町1番街 TEL 331-1987

ピザ・パブ **ピザ・パテオ**
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

レストラン **火の鳥**
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スキャンディナヴィア料理
+世界の民族音楽の店 **ゴックスタッド**
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 **ティファナーナ**
神戸市生田区中山手通1丁目4ノ12・パールコーポラスビル1F
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンク **黒牛**
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドイツ風音楽レストラン **コーベ・ローレライ**
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

ステーキ&ドリンク **神戸館**
神戸市生田区下山手通2丁目29の3
アマツビル1F TEL 321-2955

★喫茶 **にしむら珈琲店**
宮本ビル
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会館前) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶 **ガーデニア**
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F TEL 321-5114

珈琲 **モーツァルト**
神戸市生田区山本通2丁目98 グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティー&スナック **エポック**
神戸市生田区元町通3丁目(浜側) TEL 331-3694

コーヒースポット **メディタレーニアン**
神戸市生田区北長狭通3丁目(トアロード)アーバンビルB1
TEL 331-2050

★club **千**
クラブ
神戸市生田区下山手通り2丁目21 TEL 391-1077

club **飛鳥**
神戸市生田区中山手通1丁目117 TEL 331-7627

club **小万**
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

c i u b さ **ち**
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

c i u b な **ぎさ**
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

くらぶ **うげん**
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

c i u b **Moon Light**
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157

クラブ **るふらん**
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK **スカレット北野**
お好み鉄板スナック
神戸市生田区北野町2 北野アーバンライフ1F TEL 242-0076

ドリンク & レストラン **ベルビュ・ドール**
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321 5677

スタンド **かてな**
生田区中山手通1丁目90 英健ビル1F
TEL 331-1316

洋酒ハウス **雑貨屋**
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相模タクシー橋上) TEL 321-0260

スタンド **グラムール**
生田筋岸ビル地階 TEL 331-4637

スナック&ドリンク **姫**
神戸市生田区中山手通1丁目18 TEL 221-1950

カクテルラウンジ **サヴォイ**
高梁山側 テキの店北 TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE **ウッドハウス**
神戸市生田区下山手通1丁目32 PHONE 078-241-7320

スナック **ビジービー**
神戸市生田区中山手2丁目 TEL 391-4582

居酒屋 **ボルドー**
生田新道浜側中央KCBビルB1F TEL 331-3575

Wine and something **珍地理屋**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロン **神戸時代**
生田区中山手通1丁目28
モンシャウトコブキビル TEL 242-3567

ナイトイン **おしゃれ貴族**
神戸市生田区中山手通1丁目24-7
大和ナイトプラザB1 TEL 242-1925

スタンド **くる実**
生田区中山手通1の72 TEL 331-6985

キャンティ
本店洋酒の店 神戸市生田区北長狭通2ノ3
tel 391-3060・391-3010
北店 スープとパンの店 神戸市生田区下山手通3ノ8ノ9
tel 331-3661

DRINK SNACK **スネカジリッ子**
神戸市生田区下山手通2丁目
水鏡ビルB1 TEL 391-8708

music spot **サントノール**
トアロード店 生田区下山手通2丁目トア・ロード
tel 391-3822

北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6F tel 221-3886

素舌洞 **でっさん**
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND **マシュケナダ**
生田区下山手通2丁目ちやいなタウン地下
TEL 331-5587

スナック **GASTRO**
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

ティン&パブハウス **バス・チャーリントン**
生田区北長狭通2丁目(トアロード) TEL 332-1125

純会員制 **エドワーズ倶楽部**
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロン **アルバトロス**
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231) 3300

CAFE WHISKY **音楽の家・ETエトワTOI**
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイアビル3F TEL 332-1755

スナック **山荘**
神戸市生田区北長狭通1丁目22 TEL 391-5823

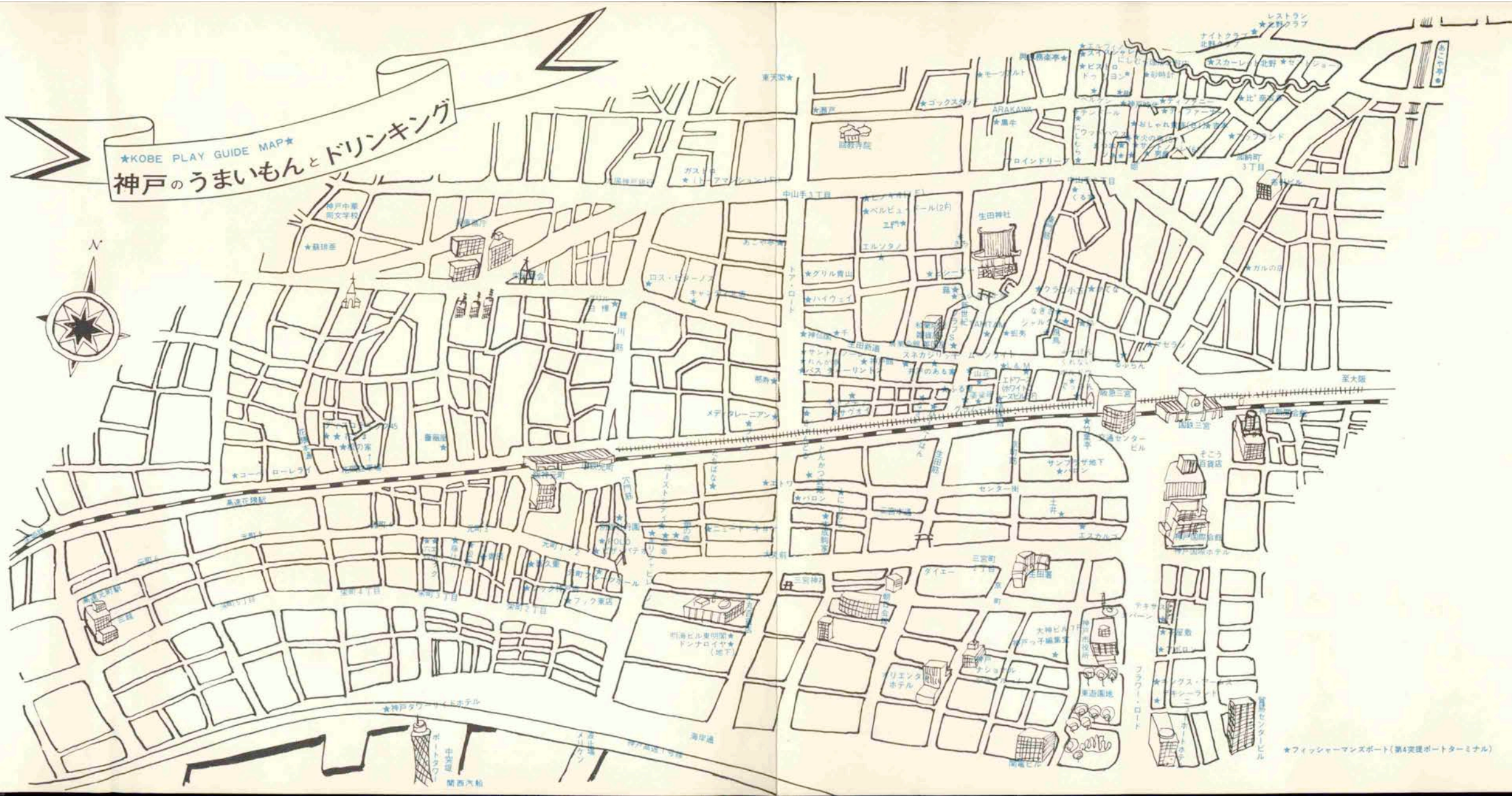
ティン & カクテルラウンジ **ルカカルトン**
生田区北野町3丁目2-67 TEL 241-4323

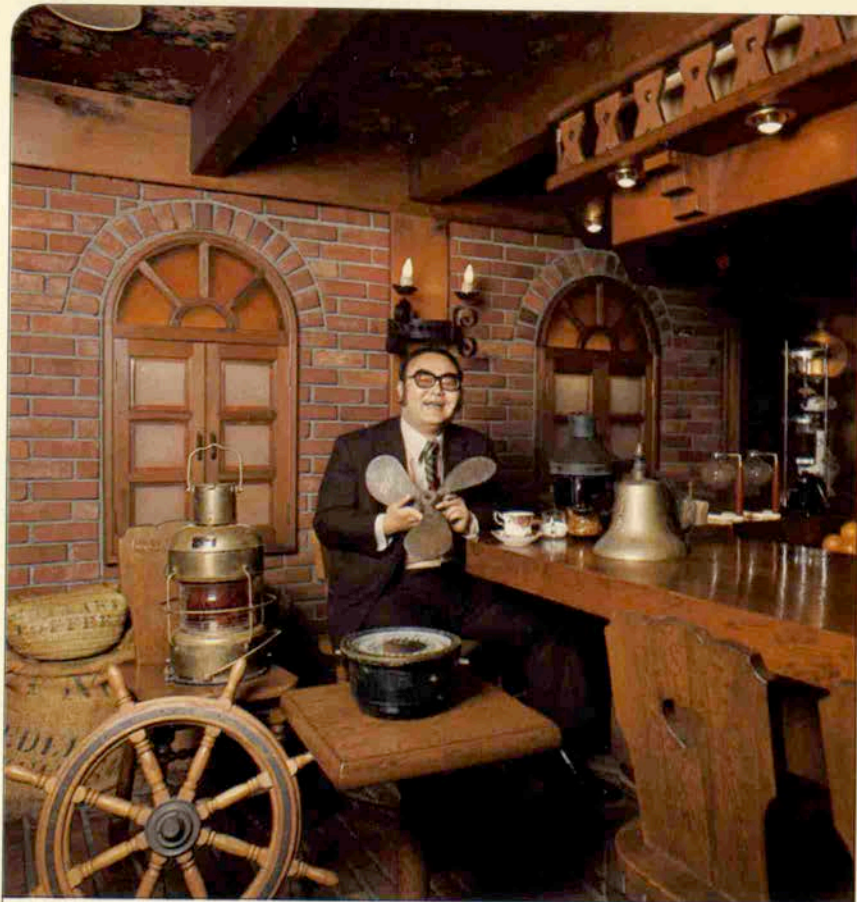
スナック **興志務楽亭**
神戸市生田区山本通2丁目60パールライフB1
TEL 242-1977

SNACK **L & M**
生田区北長狭通1丁目25 生田新道ビルB1 TEL 321-3070

パブ&レストラン **アップランド**
神戸市生田区加納町3丁目1-34 TEL 241-8271

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもん＆ドリンキング





baCon antique Series

〈36〉 船舶装備

打出谷 和夫さん

〈旭洋産業株式会社代表取締役〉

船関係の仕事であるが、ランプや羅針盤など、それこそ灯台下暗し、何ら関心もなかったが、あるデパートの展示に関った時仕事の関係を通じてこれらを求めた。その時以来、手に入るものは入り、売りに出るものは売り、そうして残っているものが事務所の棚に一杯。そこには心なしか潮の香りがする。だけど普通のコレクションとちがってすべてとにかく大きくて重い。増えれば増えるほど置く場所に困ってくる。

センター街店にて
カメラ / 米田定蔵



バコン

★英国風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

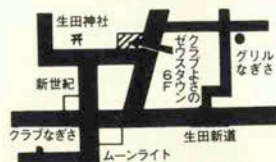
クラブよさので 和やかな 家族パーティー

昨年12月、クラブ〈よさの〉で神戸兵庫ライオンズクラブのクリスマス家族パーティーが開かれました。

アトラクションでは東映スター伊吹吾郎の歌が雰囲気をもりあげ、家族パーティーらしい和やかで楽しいひとときでした。



クラブ よさの



姉妹店 なぎさ

クラブ TEL 331-8626 321-1210
GRILL & BAR TEL 331-3670

神戸市生田区下山手通1丁目5(生田神社前)ゼウスビル6F TEL 391-5838・8706

ここには心の通った出会いがある——



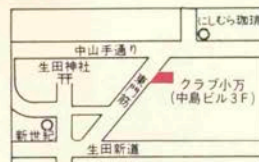
CLUB

小万

岩本起代子

神戸市生田区中山手通1丁目85(東門筋)中島ビル3F

☎ 391-0638・4386



イギリスのバブ造りの名門ジョンロジャース社が腕によりをかけて、設計から施工まで——

本格派! 英国パブ ミスタージャック



■神戸市生田区北長狭通 1 丁目 44 / 2 (三劇前大山ビル 2F)
 ■TEL. 078 (332) 2128
 ■営業 P. M 5 時 ~ A. M 2 時

●ボトル料金

ジ ン……………¥2,500
 サントリー(角)……………¥3,000
 サントリー(オールド)……………¥4,000

サントリー(リザーブ)……………¥5,500
 サントリー(V.S.O.P)……………¥6,000
 スコッチ(ハイグ)……………¥6,000

●喫茶料金

紅茶・コーヒー……………¥300
 グレープJ……………¥400
 アイスクリーム……………¥350



ファッショナブル神戸に 英国スタイルの



フレイクパブ

ロンドン

■神戸市生田区北長狭通 1 丁目 44-2 (三劇前 大山ビル 3F)
 ■TEL. 078 (332) 2127
 ■営業時間 P. M 5:00 ~ P. M 1:00

MENU (例)

ビール……………¥350
 サントリー(角)……………¥300
 サントリー(オールド)……………¥350
 ジンフィズ……………¥350

《おつまみ》
 サラミ……………¥300
 チーズクラッカー……………¥300
 カマボコ……………¥400
 グリーンサラダ……………¥400

ボトル料金 (例)

ジ ン……………¥2,500
 サントリー(角)……………¥3,000
 サントリー(オールド)……………¥4,000
 サントリー(リザーブ)……………¥5,500
 サントリー(V.S.O.P)……………¥6,000
 スコッチ(ハイグ)……………¥6,000

Night in February



スナック & スタンド

かほろ

神戸市生田区中山手通1-115
東門筋ニューセンタービル3F
☎ 391-0631

エレガントなママかほろさんの持ち味のよく出ている店。店の特色はエレガンスということだなあ…とはある常連の弁。爽やかな感じの店だ。ロバートブラウン/キープ7,000 水割500 PM 6～AM 1



山荘

神戸市生田区北長狭通1丁目22
☎ 391-5823

20代、30代のホワイトカラーのたまり場で、底ぬけに明るくリラックスした雰囲気と楽しさはこの店ならではのものです。ロバートブラウン/キープ6,800 水割600 PM 6～AM 1 第1・3日曜定休



スナック

MASA

神戸市生田区下山手通1丁目5
☎ 391-3986

お客さまとゴルフや釣やハイキングをしたり、家庭的な横のつながりを大切に、みんなが友だちになれる店づくりが特色です。ロバートブラウン/キープ7,000 水割500 PM 6～AM 1 日・祭日定休



スナック

ルージュ

神戸市生田区中山手通1丁目75-6
☎ 391-0651

ゴルフコンペ「ルーシッド会」は2カ月に1回開催して14回になる。社長からサラリーマンまでゴルフ好きの常連が多い店です。ロバートブラウン/キープ7,000 水割500 PM 6～AM 12 日・祭日定休



PUB & RESTAURANT

UPLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎241-8271



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

WOODHOUSE

山内ビル

☎241-7320・7983

KOBE DRINKING GUIDE

お好み鉄板スナック

スカーレット・北野

生田区北野町2丁目

北野アーバンライフ1F

☎242-0076



RESTAURANT

SWISS CHALET

生田区北野町3丁目48

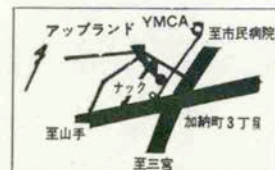
アニルドマンション1F

☎221-4343



☆外は木枯しが鳴り、粉雪の舞い散る夜もミアップランドの陽気で楽しい雰囲気は春の暖かさ。マスターのD.A.トーマスさんはじめ店に外人客が多いのも神戸らしさのひとつです。今回はライブのご紹介。毎週土曜は、夜8時から12時までピアノの難波らの演奏とチャーリーのギターとボーカルを30分毎にやっています。他の日は月、水、金とチャーリー、火、木と難波がステキなライブをきかせています。

☆ローストビーフ¥2,700 シェパーズパイ¥850 スターキ&キドニイパイ¥800 コーニッシュパースティ(ミートパイ)¥600 フィッシュ&チップス¥600 J&B、OLD各¥400 ビール¥400
平日11:00A.M.~3:00A.M. 祭日6:00P.M.~3:00A.M.
日曜6:00P.M.~0:00A.M. 無休



アップランド

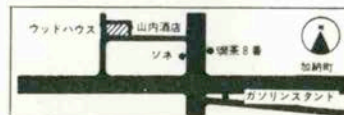
☆ウッドハウスお店の人紹介第6弾

コックの宮崎さん。通称ミヤチャン。27歳。彼の趣味は賭け事。特に競馬、マージャンと来れば天下一品。その彼がちょっとやさそつの目の近さではなく、2メートル先が見えないド近眼。メガネをかければいいのに絶対にかけない不思議な人。目の先のパイが見えないと聞いたらこっけい。ユーモアたっぷりにマージャンする楽しい人。それがミヤチャンです。一度カウンターで彼に声をかけて下さい。細い目をクリクリさせてさがしますよ。

なお、ウッドハウスでは今年1月よりキープボトルをしました。ニッカG&Gです。ぜひ1本ボトルして下さい。くわしくはウッドハウスでお聞き下さい。

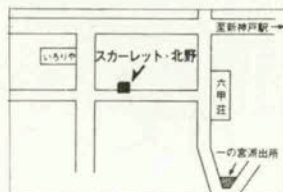
☆ビール(小)¥400 水割(OLD)フィズ各¥500 おつまみ¥150
スパゲティ・ピラフ各¥500

平日5:00P.M.~2:00A.M. 日曜6:00P.M.~0:00A.M. 無休



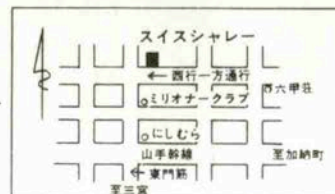
ウッドハウス

KOBE DRINKING GUIDE



スカーレット北野

〈麻雀サロン グリーンハウス ホワイトハウス〉姉妹店



スイスシャレー

(駐車場完備)

★神戸は北野に落着いたムードと名のごとく可愛い雰囲気の御好味鉄板スナック“スカーレット北野”があります。食べるもよし……飲むもよし……気楽に楽しめる店です。その暖かなムードは人と人とのつながりを大切にすることから生まれるのです。いつもここを訪れる奄美大島の本場奄美大島組の(株)丸栄商事の方々も故郷を遠く離れたここ神戸の北野に、やすらぎの場を見出し、来神のときは決って集いのひとときをもつのです。そういう心の通い合う店なのです。

★自分たちで焼いて食べる楽しい鉄板ピラミッド焼¥1,500 自信をもっておすすめるヘレスターキ(200g)¥2,800 鉄板焼 ¥1,000 お好み焼、そば焼各¥500 ビール、水割各¥500 ボトル/オールド¥6,000
ホワイトホース、カティールサーク、ジョニ赤 ¥7,000
6:00P.M.~3:00A.M.

★戸外は凍てつく寒さ。こういうときは家庭的な雰囲気の店であたたかい食事をしたいものです。“スイスシャレー”はスイス人の経営による本場のスイス料理の味わえる店です。クラシック音楽の流れる静かな店内は食事のあとのくつろぎのひとつに最適です。寒い季節には、ビーフフォンデュやチーズフォンデュが一番です。御家族づれやお友だち同士でぜひお楽しみ下さい。他にも牛仔料理、魚料理などメニューも豊富で、お値段もお手頃です。また、月曜日には貸切りのパーティーを承っています。ご予算に合わせてお料理をご用意しますのでお申しつけ下さい。スイス、フランス、ドイツのワインも取り揃えております。また、今月より毎週メニューの変わるスペシャル料理を始めています。

12:00P.M.~10:00P.M. 月曜定休